## 放課後等 デイサービス

## 事業所における自己評価結果(公表)

## 集計:令和6年3月20日

## 事業所名 放課後等デイサービス ともとも

|         |   | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善<br>目標   |
|---------|---|---|----|---------------|-----|--|--|
|         | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で<br>適切であるか                                  | 9  |               |     | ○利用児童の相性や<br>相互関係を考慮して<br>配置をしたり、部屋割<br>りをしたりしています。                  |  |
| 環境・体制整備 | 2 | 職員の配置数は適切であるか   | 9  |               |     | ○基準人員を上回っ<br>て職員を配置してお<br>り、児童指導員、保育<br>士、心理指導担当職<br>員等が在籍していま<br>す。 |  |
|         | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配<br>慮が適切になされているか                           |    | 7             | 2   | あり、階段を利用しています。階段の出入口には柵を配置して   | 〇現在のところ対象児童の<br>利用がないため、バリアフ<br>リー化は実現できていない<br>部分がありますが、今後の<br>ご利用状況に応じて検討し<br>ていきます。 |
|         | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標<br>設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか               | 8  | 1             |     |  | 〇定期で職員会議を実施<br>し、業務改善について職<br>員全体で考える機会を増<br>やします。                                     |
|         | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアン<br>ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握<br>し、業務改善につなげているか | 6  | 2             | 1   | 者アンケートを実施<br>し、反映可能な内容   | ○今後も必要に応じて、保<br>護<br>者様のご意向を確認しなが<br>ら業務を進めていきます。                                      |
| 業務改     | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホー<br>ムページ等で公開しているか                           | 2  | 5             | 2   |  | 〇今年度開設したため、今<br>回が初めての公開となりま<br>す。今後も公開していきま<br>す。                                     |
| \$善     | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務<br>改善につなげているか                             | 2  | 6             | 1   |  | ○必要に応じて、実施を検<br>討<br>していきます。   |
|         | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を<br>確保しているか                                | 8  | 1             |     | ブレット、パソコン等で<br>研修動画の視聴がで   | ○療育活動のさらなる質的<br>向上を目指し、現在の研修<br>体系に加えて、毎月の職員<br>研修を取り入れます。                             |

|          | 9   | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の<br>ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後<br>等デイサービス計画を作成しているか | 9 |   | ○定期的に保護者と<br>の面談を行い、ニー<br>ズに応じた個別支援<br>計画の作成や、課題<br>となる行動の分析をしています。<br>○1人1人のニーズに<br>ついて、職員間で共<br>通理解した上で個別<br>支援計画の作成を   |
|----------|-----|---|---|---|---|
|          | 10  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化<br>されたアセスメントツールを使用しているか                       | 4 | 5 | ○発達検査や心理検査の<br>結果を参考にしつつ、独<br>自の様式に基づいてアセ<br>スメントを行っていま<br>す。今後は、より明確に<br>子どもの状況を把握でき<br>るアセスメントツールを<br>検討していきます。         |
|          | 11) | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | 8 | 1 | ○職員間で共通理解 を図った上で活動プログラム の立案ができるよう、今後 グラムを立案・実行し ています。 ○活動毎に、実施計 画書を作成し、全職 員で検討しています。                                      |
| 適切な支援の提供 | 12) | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している<br>か   | 9 |   | ○児童が楽しく活動できるように、様々なプログラムを考えています。<br>○個別療育及び小集団療育を取り入れており、1日の中で複数の活動に取り組めるようにしています。小集団活動については、1週間毎に内容を                     |
|          | 13) | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細<br>やかに設定して支援しているか                             | 9 |   | ○利用時間に応じて、個別療育の時間を増やしたり、余暇活動の時間を増やしたりまり、余暇活動の時間を増やしたりする等、個々の実態に応じて支援に変化を加えています。<br>○計画的に準備ができるよう、早期に課題内容・活動内容の計画を作成しています。 |
|          |     | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を<br>適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を<br>作成しているか           | 9 |   | ○活動プログラムとして、個別療育及び小<br>集団療育を取り入れ<br>ています。   |
|          | 15) | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その<br>日行われる支援の内容や役割分担について確<br>認しているか             | 8 | 1 | ○打合せ時に参加で<br>きない職員は、ホワイドに示された<br>「本日の確認事項」を<br>確認し、その日の内容や役割分担について把握するようにして<br>います。                                       |

|     | T  |  |  |  | ○共通理解できるト   |   |
|-----|--|--|--|--|---|---|
| 16  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ<br>の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた<br>点等を共有しているか           | 9  |  |  | うに、職員間で話し合いをしています。                                |   |
| 17) | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底<br>し、支援の検証・改善につなげているか                           | 8  | 1  |  | ○確実に記録をとり、その内容を保護者様と共通理解できるようにしています。              | ○職員間で過去の記録を<br>見<br>返し、現在の支援内容を検<br>討するようにしていきます。   |
| 18  | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサー<br>ビス計画の見直しの必要性を判断しているか                         | 9  |  |  |   |   |
| 19  | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わ<br>せて支援を行っているか                                   | 7  | 1  | 1  |   | ○ガイドライン総則について、<br>職員の理解が深まるよう、<br><del> </del>  |
| 20  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議<br>にその子どもの状況に精通した最もふさわしい<br>者が参画しているか             | 9  |  |  |   |   |
| 21) | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 9  |  |  |   |   |
| 22  | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | 3  | 4  | 2  |   | 〇今のところ対象児童を受け入れる予定はありませんが、状況に応じて検討していきます。   |
| 23  | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 3  | 3  | 3  |   | 〇必要に応じて、過去の所属<br>先と連携していきます。  |
| 24) | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、<br>それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2  | 5  | 2  |   | 〇現時点で、対象児(学校<br>卒業児童)がいないため、<br>今後は状況に応じて検討し<br>ていきます。  |
| 25) | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 8  | 1  |  |   | ○必要に応じて、助言や研修<br>を受けていきます。  |
| 26  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                 |  | 4  | 5  |   | ○障がいのない子どもと活動<br>する機会については、今後<br>検討を重ねていきます。  |
| 2   | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して<br>いるか   | 6  | 2  | 1  | し、資料を職員間で共<br>有しています。                             | ○自立支援協議会について、<br>職員の理解が深めるよう、<br>研修を取り入れていきます。  |
| 28  | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 9  |  |  |   |   |
| 29  | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者<br>に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ<br>ているか               | 3  | 4  | 2  | ○面談や送迎の際、<br>保護者と会話をし、児<br>童への対応等につい<br>て話をしています。 | 〇保護者様向けの研修会<br>や<br>保護者会等を計画し、情報<br>共有の場を設定していきま<br>す。  |
|     | 10 10 10 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20                        | <ul> <li>⑤ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか</li> <li>⑥ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</li> <li>⑥ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか</li> <li>⑥ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか</li> <li>⑩ 育児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか</li> <li>⑦ 持たとの情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡割を適切に行っているか</li> <li>② 技・子どもの下校時刻の確認等)、連絡割を適切に行っているか</li> <li>② 広・子どもの主治医等と連絡体制を整えているか</li> <li>② は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか</li> <li>② 対・カの主治医等と連絡体制を整えているか</li> <li>② 対・カの主治医等と連絡体制を整えているか</li> <li>② 対・カの主治医等と連絡体制を整えているか</li> <li>② がき書福祉サービス事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか</li> <li>② 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所からを障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか</li> <li>② 児童発達支援センターや発達障害者支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか</li> <li>② 保護者とはえるに、子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つているか</li> <li>② 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ</li> <li>② 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ</li> </ul> | <ul> <li>⑤ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか</li> <li>② 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</li> <li>② 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか</li> <li>③ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか</li> <li>② 情害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精適した最もふさわしい者が参画しているか</li> <li>② 技・アどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか</li> <li>② に表しているか</li> <li>② は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているかか</li> <li>② がき園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているかから障害福祉サービス事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているかから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているかから降害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているかからいるかがよりからでは、予定を発達を受けているかからいるが、関連を受けているかがあるかがより、対談後等アイサービス事業所がらできる場合、できるが表しているかがない。まずは、対して、といるがは、対談を保護者と伝えるがあるかがない。まずは、対談を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況を保護者と伝え合い、子どもの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してベアレント・トレーニング等の支援を行っ</li> <li>③ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してベアレント・トレーニング等の支援を行っ</li> <li>③ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してベアレント・トレーニング等の支援を行っ</li> <li>③ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してベアレント・トレーニング等の支援を行っ</li> </ul> | <ul> <li>⑤ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか</li> <li>② 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</li> <li>② 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか</li> <li>③ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか</li> <li>② にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか</li> <li>② はそともの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか</li> <li>② は、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整を送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか</li> <li>② は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているかか</li> <li>② は、子どもの事に受験を考し、表別では、子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているかかかけ、とも園、児童発達支援事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているかかかりに著稿を対しているかかがは、対験後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所情報を提供する等しているかがいるがのなほの対別と連携し、助言や研修を受けているかかが、表別では、対しているかがは、対験後のようでは、対しているかがは、対験後のないのなが、対象を受けているかがないのない子どもと活動する機会があるかがからないのない子どもと活動する機会があるかがないのない子どもと活動する機会があるかがいからないのない子どもと活動する機会があるかがない子どもと活動する機会があるかがいからないのないのは、対験後の表別にあれているかがは、は、対しているかがは、対しているかがは、対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているかがは、対象を表しているかがは、対象に対しているかがは、対象に対しているがは、対象に対象に対しているかがは、対象に対しているがは、対象に対しているがは、対象に対しているがは、対象に対しているがは、対象に対しているがは、対象に対しているがは、対象に対しているがは、対象に対しているがは、対象に対象に対しているがは、対象に対しているがは、対象に対象に対しているがは、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象を表しないるがは、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対</li></ul> | (6) の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか              | <ul> <li>取 会社を1をにしているか</li> <li>日々の支援に関して正く記録をとることを徹底</li> <li>日々の支援に関して正く記録をとることを徹底</li> <li>日々の支援に関して正く記録をとることを徹底</li> <li>正文援の検証・改善につなげているか</li> <li>定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか</li> <li>プイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか</li> <li>プイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか</li> <li>ご 書が参画しているか</li> <li>変 とものすどもの状況に搭遣した最もかさわしい者が参画しているか</li> <li>で 大きもの下投時刻の確認等)、連絡調整(送週時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか</li> <li>② は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているは、アどもの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等と連絡体制を整えているが、アともの主治医等のを情報を提供する等して、大型を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害器をはサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか</li> <li>受 と本書を見せつターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか</li> <li>な</li></ul> |

| 保護者への説明責任等 | 30  | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について<br>丁寧な説明を行っているか   | 9 |   |   |   |   |
|------------|-----|---|---|---|---|---|---|
|            | 31) | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に<br>適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか   | 7 | 2 |   |   | 〇保護者様向けの研修会<br>や<br>保護者会等を計画し、情報<br>保護者会を設定していきま              |
|            | 32  | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援して<br>いるか                                       |   | 1 | 8 |   | の保護者様向けの研修会<br>や<br>保護者会等を計画し、情報<br>共有の場を設定していきま<br>す。        |
|            | 33  | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか                     | 9 |   |   | ○活動中に気になった点があった際には、<br>送迎時もしくはその日のうちに保護者様へ<br>連絡を行い、状況の<br>説明を行っています。 | 〇苦情対応窓口について、<br>明<br>確にお伝えします。                                |
|            | 34) | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予<br>定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し<br>て発信しているか                               | 7 | 1 | 1 |   | ○活動の概要や行事予定<br>等<br>がわかりやすいよう、早め<br>に翌月の活動予定等をお<br>知らせしていきます。 |
|            | 35) | 個人情報に十分注意しているか  | 9 |   |   |   |   |
|            | 36  | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や<br>情報伝達のための配慮をしているか   | 9 |   |   |   |   |
|            | 37) | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に<br>開かれた事業運営を図っているか   | 1 | 2 | 6 |   | 〇近隣の状況を踏まえ、今<br>後検討していきます。                                    |
|            | 38  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染<br>症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周<br>知しているか                                | 7 | 2 |   |   | 〇災害時のマニュアルについては、定期的な訓練とともに改善を重ねています。                          |
|            | 39  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ<br>の他必要な訓練を行っているか   | 9 |   |   |   |   |
| 非常時等の対応    | 40  | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 9 |   |   |   |   |
|            | 41) | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に<br>事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後<br>等デイサービス計画に記載しているか | 8 | 1 |   |   | 〇現時点で対象児童はいませんが、今後状況に応じて個別支援計画への記載を検討していきます。                  |
|            | 42  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の<br>指示書に基づく対応がされているか   | 3 | 5 | 1 |   | 〇現時点で、対象児童はいませんが、今後状況に応じて対応していきます。                            |
|            | 43  | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し<br>ているか  | 9 |   |   |   |   |

<sup>◎</sup> この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。